

〈2月前期選抜〔A日程〕〉

問題 A（見て描く）、問題 B（想像して描く）のいずれか 1 つを選び、画用紙の表面の右下に選んだ問題（「A」または「B」）を明記しなさい。選択した問題の解答を鉛筆と色鉛筆を用いて、画用紙の表面にフリーハンドで描きなさい。

なお、画用紙の裏面には必要事項を記すこと。

【問題 A（見て描く）】

配付された正方形の用紙の片面に青色の直線で構成された縞^{しま}模様を描き、もう一方の面には赤色の円で構成された水玉模様を描きなさい。

次に両面に描いた模様が見えるよう用紙を 1 回だけ折り曲げ、机の上に置きなさい。

そして、あなたが持参した机上有る任意の 2 つを選び、模様を描いた用紙と重なるように配置し、それを見て描写しなさい。

なお、縞^{しま}模様の太さや水玉の大きさ、数、置き方など、与えられた条件以外は自由に設けてよい。

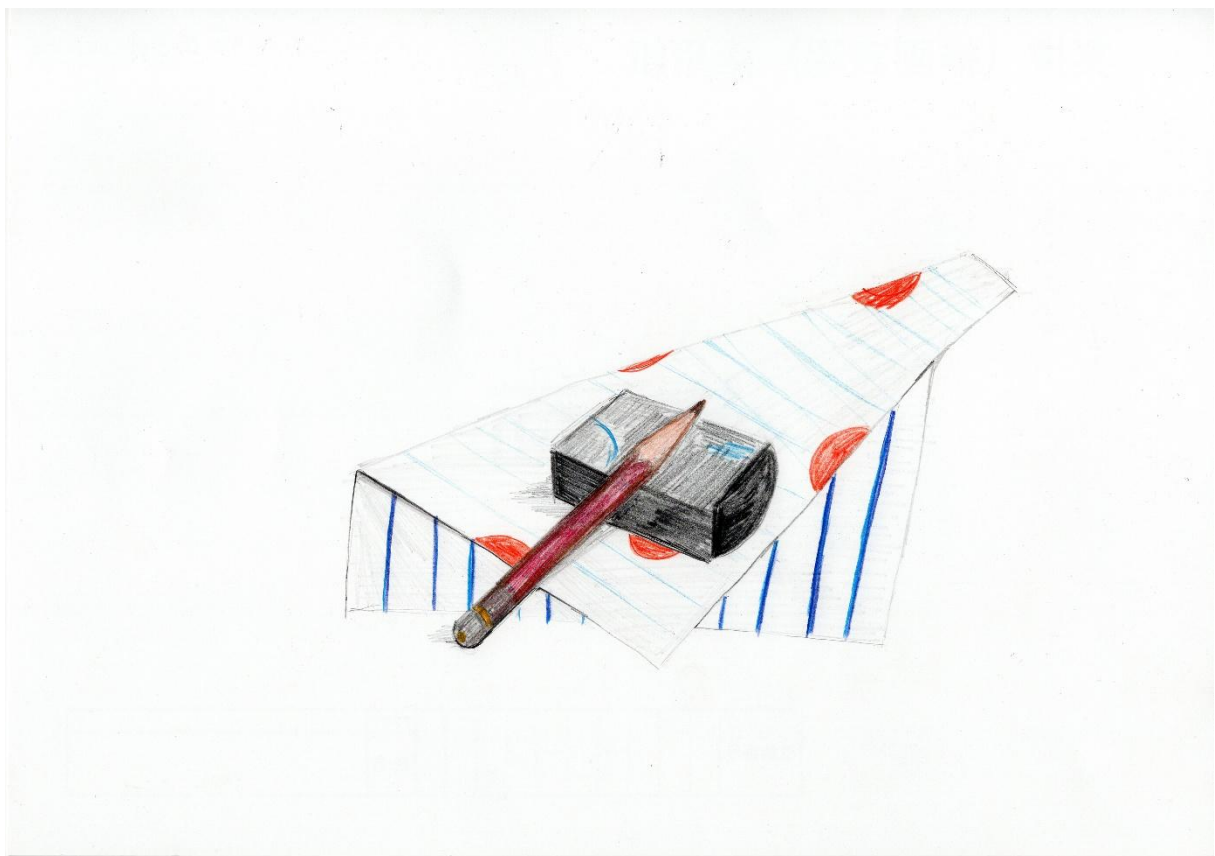
【問題 A の解説】

まず、用紙を一度だけ折り曲げることで、両面に描いた「縞模様」と「水玉模様」を効果的に見せられるかを検討します。完成した状態を具体的に想定しながら、指示どおりに描き分けることで、意図の伝わりやすい表現となります。

次に、机上有る 2 つのモチーフを選択し、それらと用紙をどの

ように組み合わせ配置すれば「美しい構図」になるのかを考えます。それぞれの色彩の調和も含め、画面全体のバランスをイメージすることが大切です。

そのうえで、実際に指示されたとおりの構成を作り、それぞれの材質感が伝わるよう丁寧に描き込みます。光の方向を意識して適切な陰影をつけることで、より実在感のある描写を目指しましょう。



次頁に続く

【問題 B（想像して描く）】

あなたは、架空の本の表紙をデザインすることになった。対象となる本は作者「紅^{くれない} 陵^{りょう}」の「天狗の忘れ物」である。表紙には、タイトルの「天狗の忘れ物」、作者名の「紅 陵」、そして以下に示したあらすじからイメージできるイラストを入れることが求められた。

上記の条件にしたがい本の表紙をデザインし、解答用紙(画用紙)に描きなさい。

「天狗の忘れ物」のあらすじ

主人公は、高尾山の麓で暮らすことになった大学生。ある日、主人公は高尾山の山中でこれまで見たことのない奇妙な植物を発見した。その植物は夜になると光を放ち、不思議な香りを漂わせた。主人公はその植物の謎を解き明かそうと調査をはじめた。時を同じくして山では不可解な出来事が頻発しはじめた。山道で見かけるはずのない古い鳥居、夜中に響く妙な笛の音、そして、ふと現れては消える不思議な老人の影…。主人公は、これらの現象と植物の関連性を探るうちに、高尾山に古くから伝わる天狗伝説と、その伝説に隠されたある「忘れ物」の存在にたどり着いた。自然と伝説が織りなす、少し不思議で心温まる物語。

なお、与えられた条件以外は自由に設定してよいものとする。

【問題 B の解説】

まず、問題文から描くべき要素をイメージし、下描き用紙に配置や大きさなどのラフ案をまとめます。タイトルの「天狗の忘れ物」、

作者名の「紅陵」、そしてあらすじから着想したイラストの位置関係を十分に検討することが重要です。

次に、イラストに盛り込む具体的なモチーフを選び出しましょう。タイトルにある「天狗」を象徴する「高い鼻」や「翼」、「一本歯の高下駄」、「羽団扇（はうちわ）」などは、視覚的なポイントとして非常に効果的です。また、あらすじに登場する「夜になると光を放つ奇妙な植物」や、舞台となる「山（高尾山）」や「鳥居」なども、物語の世界観を伝える重要な要素となります。

全体のイメージを固める際には、タイトルや作者名の文字（レタリング）にもデザインを施すことが、作品の完成度を高める大きなポイントです。

